

会 報

北海道恵庭南高等学校

〒061-1412

恵庭市白樺町4丁目1番1号

TEL 0123-32-2391

FAX 0123-32-5500

~~~~~ 巻 頭 言 ~~~~~

「定時制・通信制教育の質の向上を目指して」

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会長

(北海道有朋高等学校副校長) 入 澤 幸 博

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の会員の皆様におかれましては、日頃から北海道における定時制・通信制教育の発展と充実に力強く取り組まれておりますことに、心より敬意を表します。また、本会が推進する各種事業に深いご理解とご協力をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

さて、近年、学校教育を取り巻く環境は大きく変化し続けております。新型コロナウイルス感染症の拡大や国際情勢の不安定化など、予測困難な状況が相次ぐ中で、教育の課題が改めて浮き彫りになり、生徒の学び方にも変容がもたらされています。そのほか、少子化や人口減少、グローバル化の進展、地球規模の課題など、多様な社会問題が山積する中、教育が果たす役割はこれまで以上に重要性を増しています。

特に定時制・通信制教育においては、不登校や中途退学の経験を持つ生徒、特別な支援を必要とする生徒など、多様な背景を持つ生徒の学びを支える「セーフティネット」としての役割が求められています。そのためには、関係機関や地域社会と連携し、多様な学習機会を提供することや教育の質の一層の確保・向上に努める必要があります。

こうした状況の中、各会員校では、働きながら学びたい生徒、不登校を経験した生徒、学び直しを志す生徒など、多様な生徒を受け入れ、一人一人の学習ニーズに寄り添った丁寧な教育を行っておられます。また、地域の関係機関と連携した特別活動の充実や、地域資源を活用した探究的な学びなど、創意工夫を凝らした教育活動も展開されています。

本会といえども、会員相互がこれらの先進的な取り組みを共有し、自校の教育実践に反映させることで、北海道全体で定時制・通信制教育の質を向上させるべく活動を推進してまいります。会員の皆様には、本会報や情報交換の機会を積極的に活用していただき、研鑽を深め、その成果を自校に還元していただければ幸いです。

最後に、本会の活動にご理解とご協力を賜りました全ての関係者の皆様に、心より感謝申し上げ、会報の発行にあたってのご挨拶とさせていただきます。

定時制・通信制教育の一層の充実に向けて

北海道高等学校長協会 定通部会長

(北海道有朋高等学校長)

阿 部

穰

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の皆様には、日頃より本道高等学校の定時制・通信制教育の充実にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

学校現場におきましても、徐々にコロナ前の日常生活が戻りつつありますが、一方で、教育課程の見直しはもとより、ICTの活用の促進、生徒一人一人のニーズに応じた支援の充実等が求められており、そうした中、定時制課程や通信制課程は、本来持ち合わせている柔軟性を最大限に活かしながら、独自の進化を遂げております。

具体的には、定時制を中心とした少人数の生徒へのきめ細かな指導や地域社会との連携を深めたキャリア教育の充実、校内外の協力による教育課程の拡充など、各校では多様な取組が進められており、例年、校長協会定通部会の調査研究委員会が、先進的な取組例をまとめた「研究と活動」を発刊し、定時制・通信制課程の優れた教育実践を全道に発信しています。

本年度も、北海道教育委員会の「定時制・通信制パワーアップ事業」を活用してキャリア支援や教育相談、特別な教育的支援の充実等に取り組む苫小牧工業高校と有朋高校、地域と緊密に連携しながら生徒の自己肯定感の高揚や社会参加を図る教育活動を展開する旭川商業高校と札幌工業高校、合わせて4校の実践事例を「研究と活動」で紹介しております。これらの実践は、道内の定時制・通信制高校が抱える課題に柔軟かつ効果的な対応をしている事例とも言えるでしょう。紹介した取組を参考に、各校の実情や地域の特色等に応じて、工夫や改善を加え、自校の教育活動の一層の充実に役立てていただければと思います。

これからの定時制・通信制教育には、時代の要請に応じた更なる進化が期待されます。AIやデータ活用を含むICT技術の進展に伴い、新たな学びの形を模索する中で、生徒一人一人が自らの可能性を最大限に発揮できる教育環境を提供していくことがますます重要となり、関係各位の熱意と創意工夫が、このことを実現する大きな原動力となります。

今後とも教頭・副校長会と校長協会が連携して、各校の教育活動の発展に貢献することができるよう努めてまいります。共に手を携え、定時制・通信制教育の充実・発展に力を尽くして参りましょう。

最後になりましたが、本部会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、発刊に当たりましての挨拶とさせていただきます。

【令和6年度（2024年度）事業報告】

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会事務局長
北海道千歳高等学校 教頭 中 條 尚 志

日頃より事務局の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度の事業は皆さまのおかげを持ちまして、予定されていた事業をほぼ滞りなく実施することができました。心より感謝申し上げます。

● 北海道の事業報告

No.	期日	事業計画	内 容 等
1	令和6年 5月15日(水)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事会 総会・研究協議会	事業・会計報告、事業計画、予算案審議 研究協議 (出席者:36名)
2	5月15日(水)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	内容:報告事項、事業計画、予算案審議 当番校:札幌大通高等学校 (出席者:36名)
3	6月 3日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	内容:総会、表彰、研究協議 当番校:北海道有朋高等学校(出席者:65名)
4	7月30日(火)	◆第56回北海道高等学校給食研究協議会北海道大会	内容:会務報告、講演、研究協議 当番校:北海道札幌北高等学校(出席者:34名)
5	10月 8日(火)	◆第68回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	内容:生徒生活体験発表(札幌市教育文化会館) 当番校:北海道有朋高等学校 出場者:各支部代表生徒
6	令和7年 3月上旬	◆令和6年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容:調査研究「道立高等学校唯一の通信制課程の 実態について」

● 全国の事業報告

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和6年 5月 7日(火) ～8日(水)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	岩手県立杜陵高等学校(岩手県盛岡市) 場所:岩手県立杜陵高等学校 出席者:なし
2	6月 7日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) 出席者:事務局長 1名
3	6月13日(木) ～14日(金)	◆第76回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	場所:JMSアステールプラザ・広島市文化交流会館 出席者:有朋高校より 計8名
4	7月25日(木) ～26日(金)	◆第75回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 総会・教育研究協議会(全教協大会)	場所:あわぎんホール(徳島県徳島市) 出席者:事務局長、旭川商教頭、全国視察2名 計4名
5	8月 1日(木) ～2日(金)	◆第75回全国高等学校定時制通信制教育振興会大会 (全振大会)	場所:国立京都国際会館(京都府京都市) 出席者:有朋高校より1名
6	9月26日(木) ～27日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発表会	弘前市(青森県立尾上総合高等学校) 場所:弘前市民文化交流館 出場者:有朋高校2名
7	10月24日(木) ～25日(金)	◆令和6年度第76回東北・北海道地区高等学校通信制 教育研究会総会・研究協議会(山形大会)	山形県立庄内総合高等学校(鶴岡市) 場所:東京第一ホテル鶴岡 出席者:有朋高校より 計5名
8	11月17日(日)	◆第72回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	六本木ヒルズハリウッドプラザ(東京都) 出場者:ニセコ高校1名 幌加内高校1名
9	12月 5日(木) ～6日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	福島県立郡山萌世高等学校(福島県郡山市) 場所:福島県立郡山萌世高等学校 出席者:部会長 1名
10	12月13日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) 出席者:部会長、事務局長 計2名

1 石狩支部の概況

当支部は、札幌東高校、札幌西高校、札幌北高校、札幌月寒高校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校、有朋高校、江別高校、千歳高校、恵庭南高校、市立札幌大通高校、札幌南高校の 12 校で構成されており、各校の特色を生かした教育活動を推進しています。

定通体連等の各大会や各種の研究協議会は、コロナ禍前後の実践の蓄積により、リアルとデジタルがベストミックスされ、より充実した内容で実施されています。

2 支部関連事業

(1) 令和6年度 北海道高等学校定時制通信制体育連盟石狩支部大会

ア バスケットボール(男・女)

支部大会 6月1日(土)～2日(日)

当 番 校 北海道札幌北高等学校

結 果 男子優勝 飛鳥未来

女子優勝 市立札幌大通

イ バレーボール(男・女)

支部大会 5月18日(土)

当 番 校 北海道札幌工業高等学校

結 果 男子優勝 札幌大通

女子優勝 札幌大通

ウ バドミントン(男・女)

支部大会 5月25日(土)～26日(日)

当 番 校 北海道札幌月寒高等学校

結 果 男子優勝 団体 有朋

個人 有朋

女子優勝 団体 市立札幌大通

個人 飛鳥未来

エ 卓球(男・女)

支部大会 5月25日(土)

当 番 校 北海道札幌東高等学校

結 果 男子優勝 団体 飛鳥未来

個人 有朋

女子優勝 団体 有朋

個人 有朋

オ 柔道(男・女)

支部大会 5月18日(土)

当 番 校 北海道札幌琴似工業高等学校

結 果

男子 90kg 以下級優勝 札幌工業

女子 63kg 超級優勝 飛鳥未来

(※ サッカー、軟式野球は参加校なし)

(2) 第 68 回石狩支部高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期 日 9月12日(木)

当 番 校 北海道札幌月寒高等学校

結 果

最優秀賞 北海道札幌北高等学校

優 秀 賞 北海道札幌工業高等学校

北海道江別高等学校

8校が参加し、盛会のうちに終了することができました。大会では発表者の経験に基づく人生観について、勇気を振り絞って発言する姿が随所に見られ、いずれの発表も聴衆の心に響く大変素晴らしい内容でした。

3 まとめ

「学校に登校しづらい経験をした生徒の学び直し」「中途退学者の再チャレンジの場」としての必要性がさらに高まっていると感じています。札幌北高校と札幌南高校では、入学者が 30 名を超えました。また、有朋高校の在籍生徒は 3,000 名を超えています。市立札幌大通高校の三部制についても高いニーズがあります。

入学する全ての生徒たちが、自身の可能性を最大限に発揮できるように、支部の総力を挙げて励みます。様々な背景を持ちながらも真摯に学びに向かう生徒たちのために、教育の質をさらに向上させて行きます。

1 空知支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長定通部会空知支部は、北海道岩見沢東高等学校(道・併)、北海道滝川高等学校(道・併)、北海道天売高等学校(町)の3校で構成されています。今年度も次のような活動に取り組んできました。

2 支部事業

空知管内高等学校定時制通信制教育研究会総会並びに研究協議会

期 日 令和6年10月30日(水)

会 場 北海道滝川高等学校 大会議室

隔年開催となってから3回目の開催となりました。総会では、令和4年度事業報告・会計決算報告・監査報告、令和6年度事業計画案・予算案等についての審議が行われました。その後の研究協議では、助言者として空知教育局高等学校教育指導班主査・高井隆行様を迎え、クラーク記念国際高等学校・菅原輝俊教諭による「クラーク国際の探究学習について」というテーマでの研究発表、SMBCコンシューマーファイナンス(株)・上原慶祐氏による「SMBC グループ金融経済教育」という演題での講演をしていただき、実りある時間となりました。

3 支部関連事業

(1) 令和6年度(2024 年度)北海道高等学校定時制通信制体育大会空知支部大会

期 日 令和6年5月25日(土)

会 場 北海道岩見沢東高等学校 体育館

競技種目 バドミントン

出場校数・出場生徒数

男子2校・6名

女子1校・2名

参加生徒が減少傾向にあり、運営が厳しくなっていますが、選手たちは随所に元気のよい、はつらつとしたプレーを見せてくれました。

(2) 令和6年度第68回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会空知大会

期 日 令和6年9月26日(木)

会 場 北海道岩見沢東高等学校 記念館「大地」

参 加 北海道岩見沢東高等学校 3名

北海道滝川高等学校 2名

北海道天売高等学校 3名

結 果 最優秀賞(全道大会出場)

北海道天売高等学校・2年女子

「親愛なる天売島へ。簡易水洗トイレに敬意を寄せて」

優秀賞

北海道岩見沢東高等学校 3名

北海道滝川高等学校 2名

北海道天売高等学校 2名

『北海道通信』にもそのときの模様が掲載されています(10月9日版3頁)。



4 まとめ

定時制高校が様々な事情を抱えて入学してくる生徒たちにとっての“学び直し”の場として認知されている昨今ですが、定時制の充足率は低い状況が続いております。今後も少子化が進み、社会の情勢もさらに変化する中、受検生や保護者のニーズもいっそう多様化していくことが予想されますが、各高校においては、各々の特色を生かしながら、地域に根ざし、地域に求められる学校づくり、そして地域の発展に貢献できる生徒の育成を目指していきたいと考えております。

1 釧根支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会釧根支部は、北海道釧路湖陵高等学校(道・併)、北海道釧路工業高等学校(道・併)の2校で構成されています。両校とも夜間の定時制課程となり、多種多様な教育資源を最大限に活用し、多くの生徒に寄り添った教育課程を編成・実行しながら、充実した教育活動を日々展開しています。

釧根支部の主な活動として、定通体連支部大会や生徒生活体験発表大会等を精力的に運営しています。

2 支部関連事業

(1) 令和6年度(2024年度)北海道高等学校定時制通信制体育連盟釧根支部大会

種 目 バスケットボール(男)

期 日 令和6年5月25日(土)

会 場 釧路工業高等学校

参 加 釧路湖陵高等学校
釧路工業高等学校

結 果 優勝 釧路湖陵高等学校

(2) 令和6年度(2024年度)北海道高等学校定時制通信制体育連盟釧根支部大会

種 目 バドミントン

参加校が釧路湖陵高等学校のみであったため支部大会を実施しませんでした。釧路湖陵高等学校が全道大会に出場しました。

(3) 第68回管内高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期 日 令和6年9月18日(水)

会 場 釧路工業高等学校

参 加 釧路湖陵高等学校2名
釧路工業高等学校2名

結 果 最優秀賞 釧路工業高等学校
優 秀 賞 釧路湖陵高等学校

生徒たちは学校の代表として、これまでの人生経験や高校生活の中での印象的な出来事、そして自らが思い描く将来の夢や目標等を声高らかに、堂々と述べ上げ、出場生徒全員が素晴らしいパフォーマンスを発揮していました。その頼もしい姿は、見学に来ていた保護者の皆様を感動させ、そして、両校の生徒たち全員に良い刺激を与えていました。また、審査員の皆様からも賞賛の声を多数いただきました。

に、堂々と述べ上げ、出場生徒全員が素晴らしいパフォーマンスを発揮していました。その頼もしい姿は、見学に来ていた保護者の皆様を感動させ、そして、両校の生徒たち全員に良い刺激を与えていました。また、審査員の皆様からも賞賛の声を多数いただきました。

3 まとめ

釧根支部におきましても、生徒数減少が様々な教育活動に影響を及ぼしています。

例えば、おそらく生徒のニーズが高いであろう選択教科の設置を躊躇したり、団体スポーツの部活動の大会参加に四苦八苦したりしている状況は、釧根支部に限った話ではないものと思われます。

毎年、入学生の確保に奔走したり、年度毎に微増し続けている支援を必要としている生徒への対応を考えたりしていることは、もはや確実にルーティン化した業務となっています。

このような状況になって久しいですが、幸いにして釧根支部の2校がご近所であるという地の利を生かして、何とかこの難局を強固な学校間連携で乗り越えていきたいと考えています。

その上で、両校が相互に魅力的な教育活動を展開していくことによって、釧根地区への地域貢献のために重要な役割を果たすこととなることを信じて、今後とも努めて参る所存です。

北海道高等学校定時制通信制体育大会報告
北海道高等学校定時制通信制体育連盟事務局長
市立札幌大通高等学校 教頭 勝 田 敏 正

令和6年度の事業につきまして、当番校をはじめ、関係各位のご尽力により、すべて滞りなく終えることができました。各支部事務局校をはじめ、当番校、専門委員の皆さまにおかれましては、春季支部大会、全道大会、秋季新人戦まで円滑に運営していただき、改めて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年度の北海道大会及び全国大会の成績につきましては、定通体連事務局の Web サイト(市立札幌大通高等学校 Web サイト内)に掲載(<https://www.odori-h.sapporo-ed.jp/>)しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

今年度も北海道チームの活躍が目覚ましく、団体ではバスケットボール女子で札幌大通高校がベスト8、卓球女子で飛鳥未来札幌キャンパスがベスト8。個人では卓球女子で伊東美茜さん(有朋高校)が第3位、卓球男子で竹中大智さん(有朋高校)がベスト8、バドミントン女子シングルスで荒川暖奈(旭川東)が第5位、陸上男子走り幅跳びで丹波秀斗さん(星槎国際帯広)が第3位、陸上女子 3000m で栗原凜奈さん(星槎国際帯広)が第6位に入賞するなど、定時制・通信制という恵まれない環境のもと、日々努力を重ねて精進した選手、そして指導にあたられた顧問の皆様に、心より敬意を表します。

道内では生徒数が減少し、それに伴う教員数の減少により、大会の運営が困難な状況もありますが、ご理解・ご協力をお願いする次第です。また、定時制通信制体育連盟の大会では記録や勝敗にこだわらず、スポーツを愛する心や目標に向かって挑戦すること、お互いの健闘をたたえあうことを標榜してきました。この理念のもと、健全な青少年育成を目指し、引き続き各校での部活動へのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

今年度も大変お世話になりました。次年度も、よろしくお願い致します。

第 56 回北海道高等学校給食研究協議会
理事総会・研究協議会及び北海道大会報告
北海道札幌北高等学校 教頭 宮 川 真 一

令和6年7月30日(火)に第56回北海道高等学校給食研究協議会理事総会・研究協議会及び北海道大会が北海道札幌北高等学校にて開催され、全道から多くの給食担当者が参加した。

1 理事総会・研究協議会

(1) 報告事項

- ア 令和6年度活動計画及び中間報告
- イ 令和9年度までの役員構成輪番の確認
- ウ 令和10年度までの研究発表地区輪番の確認

(2) その他

- ア 給食研の活動について(意見交換)

2 第56回北海道大会

(1) 講演

講師 学校法人吉田学園総長付顧問
札幌保健医療大学客員教授

荒 川 義 人 氏

演題

『地産地消型学校給食の展開への期待
～人と地域の元気づくりという視点から～』

要旨

北海道の高い食料自給率の維持と食育の推進による北海道型食生活の実践について

- ア わが国の食生活の課題と学校給食・食育
- イ 新たな食の特性(機能性)の活用に向けて
- ウ 道産食材の成分的特性
- エ 地産地消型学校給食への期待

(2) 研究発表

発表 北海道帯広柏葉高等学校

教頭 西 村 直 子 氏

テーマ 『帯広柏葉高校の給食状況と課題』

要旨 帯広柏葉高校の給食の状況と指導の取組

(3) 研究協議

発表 北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食振興・指導係

主任指導主事 三 好 明 子 氏

テーマ 『衛生管理の充実』

要旨 第3次改訂版学校給食衛生管理マニュアル一部改訂のポイントについて

**第 68 回北海道高等学校定時制通信制生徒
生活体験発表大会報告**
北海道有朋高等学校 教頭 小笠原 淳 互

第68回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会は令和6年10月8日(火)に札幌市教育文化会館にて開催しました。関係各位の多大なるご指導とご協力をいただき、無事終わることができました。心から感謝申し上げます。

当日は、全道9支部の定時制高等学校の代表者10名と通信制高等学校の代表者1名、そして、当番校として有朋高等学校から1名、計12名の代表が集い、それぞれの貴重な体験を発表しました。秀逸な発表が続き、審査は困難を極めました。

その中で、「高校生活を経て新たに生まれた目標と、その先に待つ大きな夢に向かって進み続けます」と高校生活における挑戦と成長を力強く発表したニセコ高等学校の工藤浪子さん、そば打ちを通じ世界進出を目指す挑戦を熱く語った幌加内高等学校の黒瀧翔稀さんの2名が道代表に選拔され、全国大会の出場権を獲得しました。

また、すべての発表が、参観した定時制・通信制の生徒、当番校として運営に携わった本校生徒および教職員等に感動を与えることとなりました。

審査委員長である札幌東高等学校長の須藤克志様をはじめ5名による審査委員会では、各審査委員から教育的愛情あふれる講評をいただき、厳正かつ慎重な審査により各賞が決定されました。ありがとうございました。

本大会の詳細な内容につきましては、令和7年2月に全道の定時制・通信制の学校にお届けした「輝く青春」第58集に掲載していますので是非ご覧いただければと思います。

終わりになりますが、ご協力をいただきました関係各位、全道の定通教育に携わっている全ての方々にこの場をお借りして感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



【開会式】



【発表の様子】



【表彰式】



【全体写真】

【 調査研究部発表 】

道立高等学校唯一の通信制課程の実態について

定時制通信制部会調査研究部長
(北海道有朋高等学校) 小笠原淳互

I はじめに

令和3年1月の中央教育審議会答申において、「ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により『個別最適な学び』と『協働的な学び』とを一体的に充実すること」を目指すことが示された。本答申においては、学校の役割が再認識され、居場所・セーフティネットとして福祉的な役割をも担っていることが指摘されている。定時制課程及び通信制課程に通う生徒の特性や家庭環境等は多様化が進んでおり、特に、社会的機能、福祉的機能、セーフティネットとしての機能を強化して多様な学習ニーズに一層きめ細かく対応していくことができるよう、組織的かつ効果的にICTを活用した指導・評価方法の在り方等についての検討や方策を講じることが求められている。

これまでは、定時制課程における調査研究を多く取り上げてきたが、今年度は、道立高等学校唯一の通信制課程である北海道有朋高等学校通信制課程の実態について着目し、調査研究を行うこととする。

II 北海道有朋高等学校通信制課程の実態について

1 北海道有朋高等学校の概要

今年度で創立 76 年目を迎える北海道唯一の公立通信制高等学校であり、同じ校舎には定時制課程（道立高等学校唯一の三部制による完全単位制）と、離島や小規模の道立高等学校へ授業を配信している北海道高等学校遠隔授業配信センター（通称 T-base）が併設されている。

2 通信制課程の概況（令和6年7月1日現在）

通信制課程の在籍生徒数は 3,577 名、受講率は 73.5%で全国平均の 50%を大幅に上回っている。在籍生徒の半数以上の生徒は、全道各地にある 32 の協力校でスクーリング（面接指導）を受けている状況である。

また、技能連携制度により高等専修学校 2 校（苫小牧・北見）で学んでいる生徒が 309 名、学校併修が 10 校 55 名、学校間連携（余市紅志高校）・一部科目履修では 33 名が在籍している。

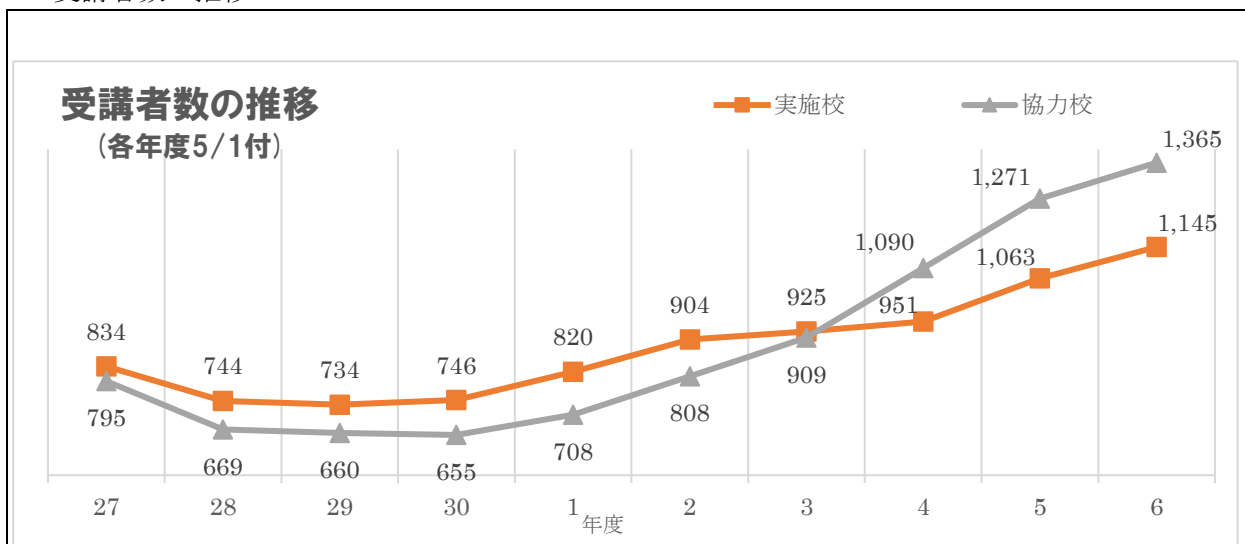
3 特色ある教育活動

- 技能連携教育の実施（技能連携校、定通併修、単通併修、学校間連携、科目履修）
- 32校の協力校体制（全国的にも稀な状況）
- 文部科学省研究事業「多様性に応じた新時代の学び充実支援事業」の実践（令和5～7年度）

4 進路状況

年度	卒業 者数	大学		短期大学		通信制 大学・ 短大	看護校	専門・ 専修	進学計	就職	進 路 決定計
		国公立	私 立	国公立	私 立						
R 3	435	1	28	0	5	1	2	62	99	20	119
R 4	410	4	33	0	3	5	1	57	103	38	141
R 5	523	6	71	1	9	9	2	60	158	57	215

5 受講者数の推移



【受講者数の状況】

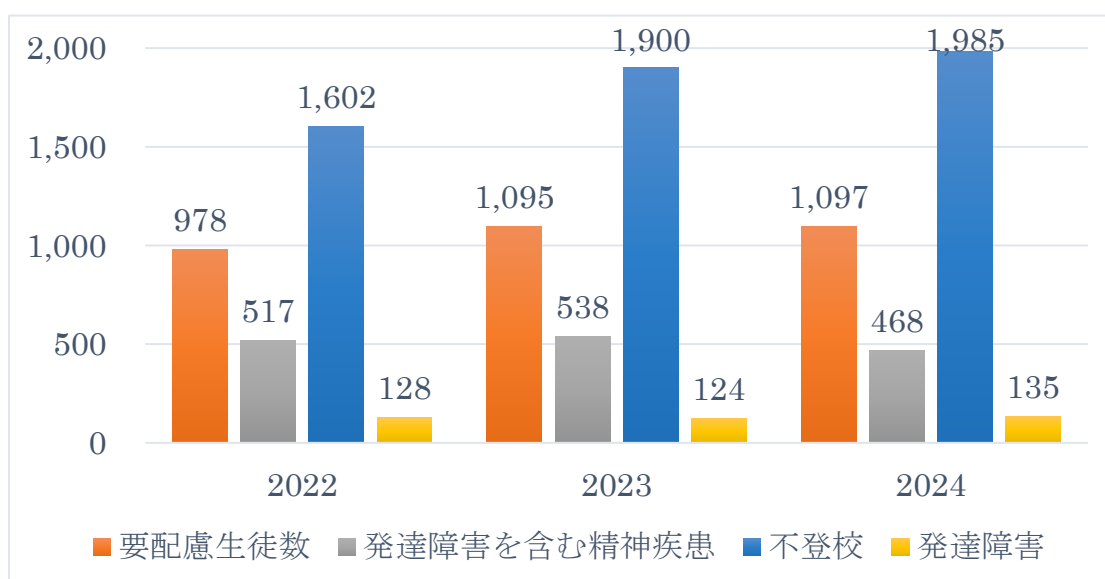
各年度の5月1日付受講生徒数は、平成30年度から7年連続で増加している。

- ・特に協力校生徒数の増加率が高く、令和4年度から実施校生徒数を上回っている。
- ・定時制課程のある協力校において、自校生徒の4倍の人数を対応しているところもある。(特に協力校の函館中部高校は7月1日現在で在籍者は288名、受講者230名となっており、生徒が教室に入りきらない状況が生じるなど、対応に苦慮している。)
- ・協力校生徒への学習・教育相談の対応が課題となっている。

6 特別な配慮を必要とする生徒の概況

小中学校段階からの不登校経験、学力不足、発達障害、知的障害、精神障害、家庭状況等の様々な課題を抱えた生徒が多く、自尊感情、コミュニケーション能力の不十分さから学校生活において円滑な人間関係を築けない生徒も散見される。

【要配慮生徒数等の概況(2024/11/1 現在)】



【特別な配慮を必要とする生徒の状況】（年齢、受講状況別）

2024/07/01起算日時点の全在籍

年代 在籍比%	男女別	在籍数	精神	発達障がい	精神 発達障がい 重複合計	精神 発達障がい %	身体	身体 %	配慮者数	配慮者 %
15 歳 計		332	38	19	57	17.1%	70	21.0%	112	33.7%
～	受 講	332	38	19	57	17.1%	70	21.0%	112	33.7%
9.28%	非 受 講	0	0	0	0	-	0	-	0	-
16 歳 計		590	55	23	78	13.2%	127	21.5%	184	31.1%
～	受 講	556	54	23	77	13.8%	121	21.7%	177	31.8%
16.4%	非 受 講	34	1	0	1	2.94%	6	17.6%	7	20.5%
17 歳 計		748	106	21	127	16.9%	154	20.5%	250	33.4%
～	受 講	680	101	20	121	17.7%	145	21.3%	237	34.8%
20.9%	非 受 講	68	5	1	6	8.82%	9	13.2%	13	19.1%
18 歳 計		574	90	25	115	20.0%	129	22.4%	207	36.0%
～	受 講	508	83	21	104	20.4%	120	23.6%	190	37.4%
16.0%	非 受 講	66	7	4	11	16.6%	9	13.6%	17	25.7%
19 歳 計		335	63	17	80	23.8%	59	17.6%	111	33.1%
～	受 講	236	52	13	65	27.5%	47	19.9%	88	37.2%
9.36%	非 受 講	99	11	4	15	15.1%	12	12.1%	23	23.2%
20 代 計		580	90	28	118	20.3%	100	17.2%	172	29.6%
～	受 講	222	46	15	61	27.4%	51	22.9%	86	38.7%
16.2%	非 受 講	358	44	13	57	15.9%	49	13.6%	86	24.0%
25 代 計		146	15	5	20	13.6%	19	13.0%	32	21.9%
～	受 講	26	6	2	8	30.7%	3	11.5%	8	30.7%
4.08%	非 受 講	120	9	3	12	10%	16	13.3%	24	20%
30 代 計		149	13	1	14	9.39%	13	8.72%	22	14.7%
～	受 講	26	2	0	2	7.69%	4	15.3%	5	19.2%
4.16%	非 受 講	123	11	1	12	9.75%	9	7.31%	17	13.8%
40 代 計		85	9	0	9	10.5%	14	16.4%	18	21.1%
～	受 講	25	5	0	5	20%	10	40%	11	44%
2.37%	非 受 講	60	4	0	4	6.66%	4	6.66%	7	11.6%
50 代 計		26	2	0	2	7.69%	6	23.0%	7	26.9%
～	受 講	12	2	0	2	16.6%	4	33.3%	5	41.6%
	非 受 講	14	0	0	0	0%	2	14.2%	2	14.2%
60 代 計		7	0	0	0	0%	4	57.1%	4	57.1%
～	受 講	6	0	0	0	0%	4	66.6%	4	66.6%
0.19%	非 受 講	1	0	0	0	0%	0	0%	0	0%
70 代 計		4	0	0	0	0%	2	50%	2	50%
～	受 講	3	0	0	0	0%	2	66.6%	2	66.6%
0.11%	非 受 講	1	0	0	0	0%	0	0%	0	0%
合 計		3576	481	139	620	17.3%	697	19.4%	1121	31.3%
計	受 講	1571	389	113	502	31.9%	581	36.9%	925	58.8%
100%	非 受 講	2005	92	26	118	5.88%	116	5.78%	196	9.77%

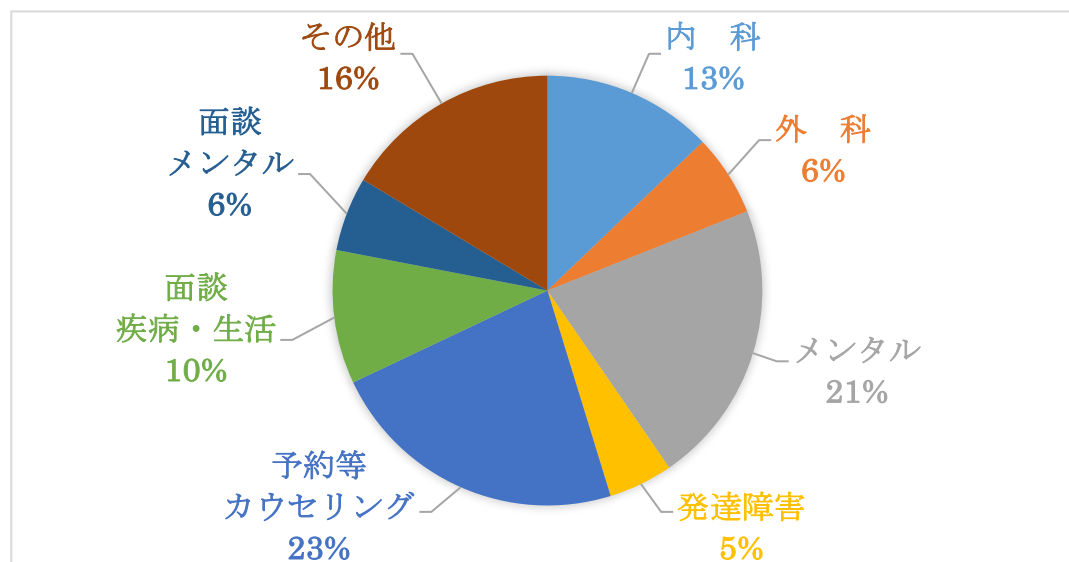
※ 1 精神疾患と発達障がいの重複はそれぞれでカウントした。

※ 2 身体は※ 1 以外の健康調査票に書かれている疾病分類をそれぞれカウントした。

※ 3 配慮者数は※ 1 ※ 2 の重複を精査し、実生徒数でカウントした。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
受講率 %	89.6%	34.1%	17.4%	29.4%	46.1%	85.7%	75%	43.9%
非受講率 %	10.4%	65.9%	82.6%	70.6%	53.9%	14.3%	25%	56.0%
要配慮受講率 %	93.0%	46.0%	22.7%	61.1%	71.4%	100%	100%	82.5%
要配慮非受講率 %	7%	54%	77.3%	38.9%	28.6%	0%	0%	17.4%

7 実施校（札幌）保健室利用状況(R6. 11. 1 現在)



(1) 教育相談の対応状況

要配慮生徒等に対して、実施校に勤務する担任及び教育相談チームが対応しているが、養護教諭は配置されておらず、期限付の養護職員（130 時間／年）が対応している。

(2) スクールカウンセラーの配置状況

道教委の年 40 時間に加え、令和 5 年度から 7 年度は、文部科学省研究事業により、実施校全面接日におけるスクールカウンセラーの配置が行われるなど実施校の教育相談体制の充実が図られている。

(3) 課題

保健室機能は実施校にしかなく、協力校生徒への対応が課題となっている。

文科省研究事業終了後の持続的な活動への接続が課題となっている。

III まとめ

今年度は、道立高等学校唯一の通信制課程である北海道有朋高等学校通信制課程の実態について調査研究を行った。

①「生徒数及び受講者数の増加が顕著な状況にある」、②「特に協力校の生徒数増加が顕著で、教室不足に陥るほどである」、③「要配慮生徒も増加傾向にある」、④「これらの生徒への対応は実施校に集中しており、協力校への対応が課題となっている」、⑤「保健室機能も実施校に限定されており、協力校生徒への対応が課題である」、⑥「文科省研究事業終了後の持続的な活動への接続も課題となっている」など課題が山積している状況であることが分かった。

**【令和7年度（2025年度）事業計画（案）】 北海道高等学校教頭・副校長会定通部会事務局長
北海道千歳高等学校 教頭 中 條 尚 志**

● 北海道の事業計画（案）

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和7年 5月16日(金)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事 総会・研究協議会	オンラインによる理事総会・研究協議会 配信校:北海道札幌南高等学校
2	5月16日(金)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	オンラインによる幹事総会 配信校:北海道札幌南高等学校
3	6月 2日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	ホテルライフオート札幌 当番校:北海道有朋高等学校
4	7月29日(火)	◆第56回北海道高等学校給食研究協議会北海道 大会	内容:講演、研究協議 当番校:北海道札幌北高等学校
5	10月7日(火)	◆第68回北海道高等学校定時制通信制生徒 生 生活体験発表大会	内容:生徒生活体験発表(札幌市「かでの2.7」) 当番校:北海道札幌月寒高等学校
6	令和8年 3月上旬	◆令和7年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容:調査研究「未定」

● 全国の事業計画（案）

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和7年 5月7日(水) ～8日(木)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	盛岡市 場所:岩手県立杜陵高等学校
2	6月6日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
3	6月12日(木) ～13日(金)	◆第77回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	高松市 場所:レクザムホール(香川県立ミュージアム)
4	7月24日(木) ～25日(金)	◆第76回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長 協会総会・教育研究協議会(全教協大会)	奈良市 場所:奈良春日野国際フォーラム薨～I・RA・KA～
5	8月7日(木) ～8日(金)	◆第76回全国高等学校定時制通信制教育振興会大 会(全振大会)	岐阜市 場所:ホテルグランヴェール岐山
6	8月	◆令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会	東京都他
7	10月3日(金) ～4日(土)	◆東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験 発表会	札幌市(当番校:星槎国際高等学校) 場所:札幌市男女共同参画センター(予定)
8	10月23日(木) ～24日(金)	◆令和7年度第77回東北・北海道地区高等学校通信 制教育研究会総会・研究協議会(青森大会)	八戸市 場所:八戸プラザホテル
9	11月	◆第73回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	六本木ヒルズハリウッドプラザ(東京都)
10	12月4日(木) ～5日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	秋田県 場所:秋田県立秋田明徳館高等学校
11	12月	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

【編集後記】

定通部会における広報部の業務につきまして、御理解と御協力とをいただき心よりお礼を申し上げます。おかげさまで、本年度の「会報」も無事発行の運びとなりました。編集発行にあたり、校務ご多用の中ご執筆いただきました校長協会定通部会長の阿部校長先生をはじめ、全道の副校長・教頭先生方にあらためて感謝申し上げ、編集終了の挨拶とさせていただきます。

〔北海道恵庭南高等学校 教頭 古 瀬 径 二〕